

科学者委員会・男女共同参画分科会（第22期・第9回）
議事要旨

- 1 日時 平成25年10月3日（木）12:00～13:30
2 場所 日本学術会議事務局 6-B会議室
3 出席者 江原由美子委員長、小館香椎子副委員長、有信睦弘幹事、田畑泉幹事、
辻村みよ子委員、樋口美雄委員、萩原一郎委員、桃井眞里子委員、
新井民夫委員、井野瀬久美恵委員（計9名）

4 議題

- (1) 男女共同参画分科会（第22期・第7回）議事要旨（案・未定稿）
(2) 協力学術研究団体に対する「ヒアリング調査」について（報告）
(3) 男女共同参画についてのアンケート調査について
(4) その他

【配付資料】

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・資料1 第7回議事要旨（案）・資料2 協力学術研究団体に対する「ヒアリング調査」について・資料3 男女共同参画に関するアンケート調査のお願い |
|---|

5 概要

- ・議題1「男女共同参画分科会（第22期・第7回）議事要旨（案・未定稿）」について
前回議事概要の確認。その場での意見なし。

- ・議題2「協力学術研究団体に対する「ヒアリング調査」について（報告）」

報告内容

「科学者コミュニティにおいて女性の参画を拡大する方策」について、協力学術研究団体に対し、ヒアリング調査を数名で実施。本年2～6月にかけて8団体に対してヒアリング調査を実施。その内、7団体は全て理系の団体、文系の団体は1団体。

このうち、ある大学では、近年の女子学生の入学生が顕著に伸びているため、同大学の教員、学生への支援が大切とのこと。

諸意見

- ・ヒアリング対象先は、産業界、特に科学や物理学系の団体の数が少ない。
今後は、企業研究の動向、調査等のヒアリングが必要と思う。
- ・表彰の中で、女性限定の表彰数は1団体あった。
- ・ここ10年間、調査内容に変化がないので、視点を変えた調査を行ったらどうか。
- ・模範的な団体があったら今後、教えていただきたい。（委員長）
- ・今後、人材育成が求められる中で、若い人材をどうやって伸ばしていくことを検討する必要。
- ・男女共同参画は、人材育成が重要であると思う。育児休業など特に女性のライフスタイルの中で、どのような着眼点で考えていかねばならない点が課題であると認識。
- ・今後、報告書作成に向けてどこまで調査していくかを考えていきたい。（委員長）

・議題3「男女共同参画についてのアンケート調査について」

報告内容

現在、事務局でアンケートの結果を取りまとめている状況。集計、分析作業などは、委員長の指導のもと、実施。

意見（全体含む）

- ・報告書（22 期末）は、WG 作成の骨子を検討し、来年 1 月、分科会を開催し、構成を詰める。内閣府男女局からの諮問に対する回答もそこで検討。

（委員長等）

- ・公立大学協会から公立大学部分のデータ分析の要請があり、協会の協力を得て、実施する経緯から認められた。（委員長等）
- ・現在計画しているシンポジウムは、ジェンダー関係の他の分科会と連携して、来年 5 月に開催予定。各種調査データはそれに活用。（委員長等）

（以上）